

自己紹介

氏名： 館本 真一（たてもと しんいち）
所属： 岩手県 ふるさと振興部 科学・情報政策室
役職： デジタル推進課長
経歴： 平成元年 4 月入庁

（以下、直近の情報部門における経歴のみ掲載）

科学・情報政策室は、科学技術の振興、デジタル化やDXの総合的な企画・調整及び推進を所掌する組織です。

県内のデジタル化やDXを推進する（市町村支援を含む）「デジタル推進担当」をはじめ、庁内の情報システム等を運用する「行政情報化担当」、科学技術振興を担当する「科学技術担当」の3つのシマで業務を行っています。

期間	部署／担当など
令和3年4月～令和5年3月	総務部 行政経営推進課／行政情報化担当課長
令和5年4月～令和6年3月	ふるさと振興部 科学・情報政策室／行政情報化担当課長
令和6年4月～	現職

上記のほか、庁内情シス担当者として通算5年、広報担当者としてCMSの更改や運用に通算7年、公の施設担当者として館内ネットワーク・システムの更改や運用に2年、情報システム関連業務に携わって18年目となります。。。

生成AI導入状況

★導入目的

行政経営プラン（令和5～8年度）において、「デジタル技術の活用等による業務の変革・効率化の推進」を掲げており、柔軟かつ効率的な働き方ができる環境に向けたツールの一つになり得るものとして、検証から開始した。【令和5年6月9日試行開始】

★利用可としているツール

- ① 「ChatGPT」・・・庁内の貸出端末により利用可
- ② 「Microsoft Copilot（旧Bing AIchat）」・・・職員ひとり一台端末で利用可

なお、いずれも無償ライセンスで利用していることから、AIの学習に利用されることで情報漏えいに繋がる可能性のある質問（個人情報、公開を予定していない情報など）は入力しない運用としている。

★ガイドライン等の策定

試行を経て、主に使用上の留意点など運用面に着目した「生成AIの利活用ガイドライン」を令和5年7月21日制定
その後、活用事例を盛り込み、令和5年12月12日付け改訂